

教育・文化スポーツ常任委員会 県内行政調査

1 調査日 令和3年7月27日（火）

2 調査の概要

(1) 滋賀県立草津東高等学校（草津市西渋川二丁目）

滋賀県立草津東高等学校は、県内唯一の体育科が併設された普通科高校の特色を活かし、「文武両道で明日をつかむ！」をスローガンに、生徒が学習と部活動に励んでおり、人工芝のサッカーグラウンドを初め、アーチェリー場、陸上競技場、新旧体育館など施設も充実しているところである。

また、同校の部活動のうち、女子卓球部および女子ソフトテニス部では、円滑に部活動を実施できるよう、生徒への専門的技術指導と教員の働き方改革を目的とした部活動指導員が配置され、指導に当たっており、同校の施設の概要と、部活指導員が配置されている部活動の現状について調査を行った。



(2) 滋賀県立美術館（大津市瀬田南大萱町）

滋賀県立美術館は、平成29年4月より休館して、長期にわたって県民等が利用できない状態が続いていたが、施設、設備の改修工事を実施し、名称を滋賀県立美術館に変更して、「かわる、かかわる」をコンセプトに、令和3年6月27日に再開館したところである。

また、今年度は、令和3年3月に策定した美の魅力発信プランにおいて、県立美術館を拠点とした「滋賀の美の魅力」の発信に取り組む初年度でもあるため、同館の再開館後の状況について調査を行った。



(3) 滋賀アリーナ（大津市上田上中野町）

滋賀アリーナは、老朽化したウカルちゃんアリーナ（県立体育館）に代わる施設として、スポーツ会館が有するトレーニング機能を複合化させ、整備が進められており、本県で開催される国民スポーツ大会においては、体操、バスケットボールおよびバドミントン、全国障害者スポーツ大会においては、バスケットボール、車いすバスケットボールの競技会場として使用される予定となっている。

現在、同アリーナの建設工事が行われているところであり、進捗状況等について調査を行った。

